



E分科会 「歴史的な建物とまちなみ」

司会 本間 恵美（北海道建築士会）
 アシスタント 米本 一恵（北海道建築士会）
 出席者 36名

分科会主旨

報告された2つの活動は、保存という動の活動と、映像という静の活動です。視点はそれぞれ違いますが、建物を守り残したい思いは同じだと思います。報告をお聞きして、建物保存のあり方や問題点について、また、活動のネットワークを広げる方法などを、お集まりいただいた方々と共に考えました。

活動報告

「復興小学校と明石小学校保存活動」

コメンテーター 多羅尾 直子（東京建築士会）

明石小学校は、関東大震災後に建てられた復興小学校の第一号として大正15年に建設。現役使用中だが、講堂が狭い、天井が低いなどいくつかの理由により建て替えが進行中。表現主義的斬新なデザインで、Rを多用した明るい校内は良く考えられ使い勝手の良さが伺える。耐震上も問題なく、建築学会により重要文化財にも値するとの報告もあり、保存活動を行っている。現校舎を保存できるリノベーション案を作成し中央区に提出。8月の解体開始をなんとか止めたい。署名活動継続中。



「関西の近代建築物 高島屋東別館(旧松坂屋大阪店)」

コメンテーター 曾我部 千鶴美（大阪府建築士会） 材寄 法子（大阪府建築士会）

現高島屋東別館を20分の映像アーカイブとして編集。昭和9年に建築家鈴木楨次の設計により建設。SRC造。外観はルネサンス様式で、連続アーチが美しい。アカンサスのモチーフを多用し、天井のレリーフ、アールデコの照明やシャンデリアなど当時の華やかさが伺える内部。現在は百貨店としての使用は無く、一部を高島屋資料館やブライダルサロンとして使用されるにとどまっているのが残念である。



意見交換

保存活動には、地元有力者やマスコミを活用して周知する。署名数と選挙の票数は関係性有り。実際の価値を知らない人が多い。身近な建物の重要性を早めに知らせるべき。建物見学や映像は有意義。全国女性建築士連絡協議会や冊子「建築士」を有効に活用し、建物の価値や署名活動をアピールする。